

知って備える防災メモ

第30回



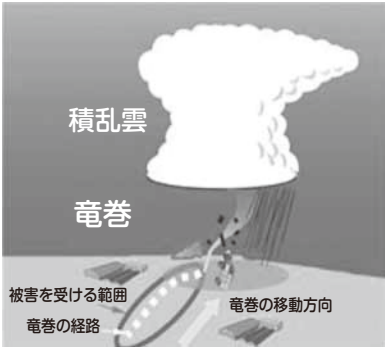
竜巻から身を守るために知っておこう

●竜巻とは

竜巻は、積乱雲に伴って発生する強い上昇気流をもった激しい渦巻きです。一般的に、直径は数十から数百メートルに渡って移動し、家の倒壊や自動車を飛ばすなど、人命に関わる非常に大きな被害を発生させます。

●道内での発生状況

平成25年4月から平成27年3月までの間には、竜巻などによる突風の被害が10日発生したほか、平成18年11月には佐呂間町で9人の方が亡くなっています。



▲竜巻のイメージ図

●気象台では

竜巻が発生しやすくなる一日程度前に『雷と突風に関する気象情報』、数時間前に『雷注意報』、直前に『竜巻注意情報』を発表します。

●竜巻が近付いてきたら

真っ黒い雲が近づいて周囲が急に暗くなり、冷たい風が吹き出したり、雷を見聞きしたり、大粒の雨や『ひよつ』が降り出すときは、竜巻が発生する恐れがあります。

竜巻が近づく場合は、屋外では頑丈な建物の中へ移動し、頑丈な建物がない場合は、なるべく低い場所姿勢を低くして頭を守ってください。また、屋内では窓から離れて、1階の丈夫なテーブルなどの下に入って頭を守るなど、安全を確保する行動をとってください。

問い合わせ

室蘭地方気象台

(☎) 0424249

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

登別将棋同好会

『登別将棋同好会』は、昭和60年頃、前身の組織であった日本将棋連盟登別支部の支部長勇退に伴う活動継続の危機に際し、有志が集う形で結成されました。現在在籍しているのは20代から80代までの男性15人。毎週土・日曜日と祝日の13時から、老人憩の家『永和園』で活動しています。

活動は、その時々が集まった会員同士が、お互い自由に相手を選び対戦を楽しむ形式で行われます。部屋に掲げられた『前進できぬ駒はない』の格言の下、リラックスしたムードの中で、静かな戦いが繰り広げられます。小学生や初心者の方が会に来られた際は、その実力に応じて、



将棋の魅力を伝えながら お互いをさらに高めあ っていきます



▲盤面で火花を散らす会員の皆さん

指導を交えながら対戦することもあります。

会長の佐藤和義さとうわさよしさんは会について「型にはまらない自由な雰囲気特徴で、新たな会員の方も溶け込みやすい会です」と話します。

将棋の魅力について、古くからの会員である木村善博きむらよしひろさんに伺うと「勝てば夢に見るほど嬉しく、負けると本当に悔しいところですね」と笑顔で話してくれました。

永和園での通常の活動のほかに、市民活動センターの『ぼりん文化講座』で年5回程度、子ども将棋教室を開催し、競技の魅力や次世代へも伝えていく活動も行っています。

入会を希望する方は佐藤さん(☎)09670)まで。